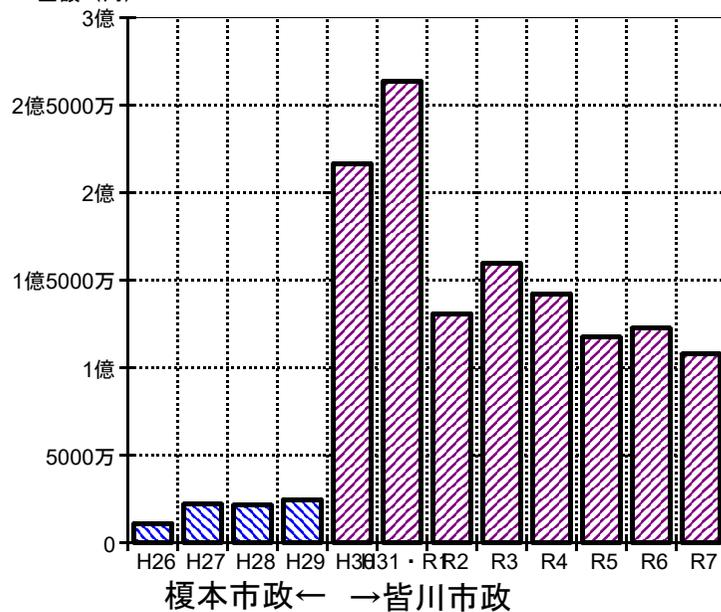


## 鶴岡市 地域まちづくり未来事業計画の推進

事業名	令和7年度 事業内容						
	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
地域振興懇談会運営事業	135万円	91万3千円	135万7千円	177万7千円	88万8千円	88万7千円	地域振興懇談会を開催し、各地域の課題解決策や地域の活性化策について協議を進める。
鶴岡	3,180万7千円	3,016万3千円	3,016万1千円	2,016万1千円	2,016万1千円	2,015万2千円	鶴岡地域の広域コミュニティ組織が、未来に向けて取り組むまちづくり事業を支援し、住みよい、活力あふれる地域コミュニティの構築を推進する。
藤島	1,550万6千円	2,250万3千円	2,301万1千円	2,624万2千円	2,779万2千円	2,249万5千円	1. 未来に繋げる田園文化と多様な水田活用農業の振興 5,692千円 2. 歴史と文化、交流が彩るふじのまちづくりの推進 15,485千円 3. 暮らしやすい“藤島”を実感できる生活基盤の再構築 1,318千円
羽黒	1,787万9千円	4,415万3千円	1,667万8千円	1,380万8千円	1,418万4千円	1,408万2千円	1. 人を惹きつけ魅力あふれる観光の推進 12,652千円 2. 地域の特色を生かし価値を高める農業の推進 665千円 3. 活力ある地域づくりを担う地域コミュニティの推進 765千円
櫛目	1,291万9千円	1,512万8千円	1,812万5千円	1,292万4千円	2,018万7千円	1,239万6千円	1. フルーツの里づくりの推進と、地域資源の観光連携による魅力度の向上 5,553千円 2. 黒川能など貴重な歴史文化の継承と活用推進 4,440千円 3. コミュニティの活性化と明るく健康で暮らしやすい地域づくりの推進 2,403千円
朝日	2,123万5千円	2,553万2千円	2,190万6千円	1,452万4千円	1,927万8千円	1,901万8千円	1. 中山間地域における定住環境の支援 14,488千円 2. 森林資源、自然環境などを活用し、中山間地に特化した農林業の振興 2,210千円 3. 自然、文化、風土など、地域資源を活用した観光の振興 2,320千円
温海	3,005万2千円	2,129万8千円	3,153万7千円	2,804万5千円	2,013万8千円	1,862万4千円	1. あつみ温泉と道の駅を拠点とした地域振興 1,040千円 2. 自然・歴史・文化を生かした交流人口、関係人口の拡大 13,394千円 3. 地域特性を生かした農林水産業の振興 2,050千円 4. 海・山・自然豊かに暮らし続けられる環境整備 2,140千円
合計	1億3,074万8千円	1億5,969万円	1億4,232万7千円	1億1,748万1千円	1億2,262万8千円	1億765万4千円	

金額(円) 鶴岡市の地域振興予算の推移



### ふるさと賛歌

鈴木重雄(八色木)

幼い頃の遊び唄 6 による、大正・昭和初  
八色木の日向富さん 期の幼い頃の遊び唄 ⑥

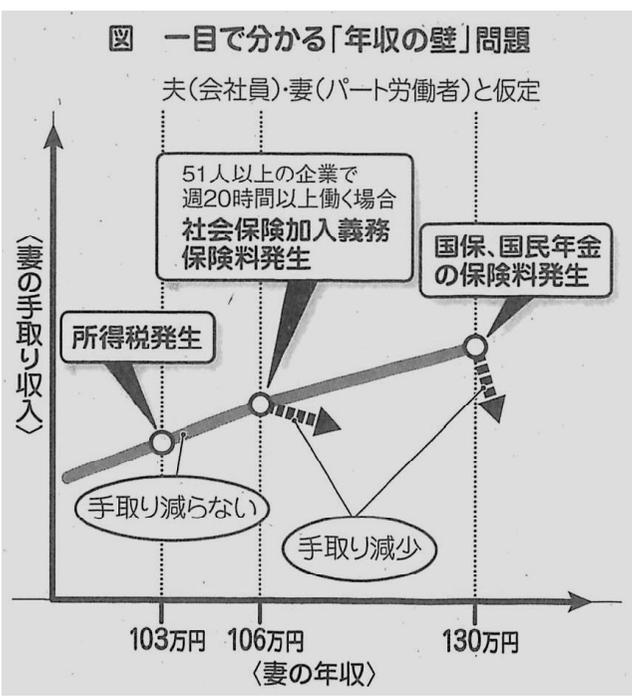
毬つき遊び

どんどーや いやどんど  
どんどーや ニやどんど  
ざくろーは 一もんめ  
ざくろーは 一もんめ  
ざくろーは ニもんめ  
ざくろーは 一もんめ  
たーたきざくろは 一もんめ  
たーたきざくろは ニもんめ  
たーたきざくろは 一もんめ

おてんとざくろは 一もんめ  
" " ニもんめ  
" " 三もんめ  
すべちやーが 一もんめ  
" " ニもんめ  
いーんのさーのじきくさつさまあおびで  
わたしもおそれず  
がってんしよー まけてもしよー  
さどやの ニ さどやの 三

さどやの 四 さどやの 五  
一とつて ニとつて 三とつて  
四とつて 五やあがれ  
かみとき 一もんめ  
" " ニもんめ  
おしれ(おち)つけ 一もんめ  
" " ニもんめ  
紅つけ 一もんめ  
" " ニもんめ  
五やあがれ  
五やあがれ  
五やあがれ  
五やあがれ

# 「年収の壁」問題



03万円を超えると「扶養控除」、「特定扶養控除」がなくなります。他に「保険料の壁」があります。

従業員51人以上の企業で働いている場合、年収が106万円に達すると、自分で社会保険料を払うことになり、手取りが急に減ります。社会保険に入っていない職場では、年収が130万円を超えると国保などに加入し、手取りは大きく減ります。

パートで働く妻が年収103万円を超える

と、給与所得控除（最低55万円）と基礎控除（48万円）の合計103万円を超えるので、所得税が発生しますが、手額は減りません。

夫の配偶者控除は、妻の年収が150万円までは、「配偶者特別控除」が適用され、150万円を超えた後は段階的に減額され、210万円を超えた時点でなくなり（2018年から）。

学生が親の扶養親族の形でアルバイトをする場合、その年収が1

## 東田川史跡物語

青山 崇

余目・大野村の佐藤清二郎日記によると、佐藤善治氏の畑を馬耕。その他、五十嵐九兵衛（山添）、佐藤長七、中田順三（藤島中町）、渋谷吉右衛門らの地主が協力し、自分の所有地に実習田を作り、自ら伝習生になって島野嘉作に協力し、馬耕奨励に努めたので、支援者も増えてきた。

『稲作改良碑』はこう

記している。

「越三年子弟益進郡吏議員亦皆感其誠議為郡業給其資用君乃請郡長創競犂会賞能者各有差拳卒業者为助教師分教鄰村而從教之村連歲有年三十一年及今郡長」

（3年経って弟子はますます増え、郡職員・議員も島野嘉作の誠実に感銘し、郡会はその事業として費用を支出すことになった。

## 動けば変わる 意見・要求を 政治へ

政権与党が過半数割れとなつて、国民の要求が通る可能性が開かれました。

市政も同様に、声をあげれば変わります。体育館のトイレが壊れたままなど、意見・要求をお寄せください。

あなたの声を届けます

氏名 連絡先 切り抜いて、共産党市議団や民報配布者にお渡しください

また郡競犂会開催を郡長に進言、明治29年4月に第1回東田川郡馬耕競犂会開催、各地でもこれに続き、互いに競い合い、馬耕技能を高めた。

成績優秀な者を助教師とし隣村を指導させた。

なおこのような業績で明治29年3月、東田川郡農事試験場長（明治26年「勸業」から「農事」に、戦後農業試験場になる）に任命された。

この年度中に郡内の



佐藤清三郎は大沼作兵衛の3男である。 (競犂会見物人多数)

総面積1万8871haの62%にあたる8千数百haが乾田馬耕になり、明治31年、関原弥里は苦勞した相良守典郡長に替わって郡長になります。乾田馬耕がさらに進み、県下一になった。

## きびちよ



### 被爆国の役割

「参加すれば誤ったメッセージを与え、平和と安全の確保に支障を来す恐れがある」と表明した、と19日付の山新に出ていたのが、核兵器禁止条約第3回締約国会議への日本の態度を外務大臣の発表だ。

▲併せて、「核兵器のない世界への出口とも言える重要な条約だ」と核禁条約を認めながら、「条約は核抑止と相いれず、核兵器国が締結する見込みがない」とも言ったとの事。

▲これを読んで、なんともスッキリしないな〜と思ったんですが、皆さんはどうですか。

「参加すれば誤ったメッセージを与え」とは、どう言う事ですかねー。日本が例えばこの会議にオブザーバー参加すると、「平和と安全の確保に支障を来す恐れがある」ってかい。

▲なんとかオブザーバー参加を願っていた、昨年ノーベル平和賞を受賞した被団協からは、抗議の声があったと赤旗日刊紙に出ていたが、地方で草の根の運動をしてきた方々も同じ思いではないでしょうか。

▲そもそも核兵器禁止条約に対して日本は、正確ではないかもしれませんが、「核兵器の保有国と非保有国との間に入って、核兵器が早く無くなるように働く」と言っていたんじゃないかなかったですか。

▲だとすれば、「誤ったメッセージを与える」る事にはならず、「平和と安全の確保に支障を来す恐れ」も無いでしょうや。むしろ、唯一の被爆国として「一歩進んだネ」と世界から評価されることでしょうか。

▲だから、「条約は核抑止と相いれず、核兵器国が締結する見込みがない」は取り消すべきで、そもそもと違うだろう。(石川)